

教育総合センター だより

NO. 160

令和 3. 5. 1



学びをとめない

教育総合センター

所 長 平山 直樹

令和2年4月に「緊急事態宣言」が発出され、1年以上過ぎた今も新型コロナウイルス感染は収まらず、新たに変異株が急拡大し、3回目の「緊急事態宣言」が発出されました。ただ宣言が出て学校の一斉休校は行わないことに、安堵します。私たちは、昨年の3ヶ月におよぶ臨時休校を通して、子ども達にとっての学校は、単なる学習保障の場だけでなく、毎日の教室での何気ない体験を通して感受性や社会性などを育むところ、そして何より精神的な安心を保障する場所であることを実感しました。感染防止に万全を期しながら、誰も経験したことのないこの時代を生きる子ども達の学びをとめない教育に邁進したいと改めて思います。

そんな中、令和3年1月26日に中央教育審議会から答申が出されました。答申では、2020年代を通じて実現をめざす『令和の日本型学校教育』について、学習者を視点とした『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実することの重要性や具体的な方策が示されました。本市では、これまで「確かな学力の保証」と「授業改善」を柱に学習指導を行ってまいりましたが、それに加え、『尼崎市版GIGAスクール構想』（AGS）を推進しながら、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を進めていかなければなりません。答えのない問いに立ち向かえるたくましさ子ども達に育んでいくことが私たちに求められています。

さて、今年度、教育総合センターは組織改編があり、「学び支援課」「学校ICT推

進課」の2課体制となりました。学び支援課では、研修参加者が何らかの「気づき・発見」を持ち帰れるよう前例にとらわれない多様な研修を行うとともに、「特別支援ボランティア養成講座」等の大人の学びを支える研修も行っています。また、あまっ子ステップ・アップ調査等の分析や選任された教員による研究部会での実証研究も実施していきます。

学校ICT推進課では、本年9月からの情報システム本格稼働に向け環境整備を確実に進めています。また、全ての小中学校にICT活用推進チームを編成していただくとともに、AGSリーディング・プロジェクト校での実践を市内に還元することで、教職員のICT活用指導力の向上を図っていきます。

ところで、本センターがある若王寺の「あまがさき・ひと咲きプラザ」には、「いくしあ」「あまぼーと」「アマブラリ」等尼崎市民の学びと育ちを支える機関が集結しています。この4月からは、本センター8階以上に「兵庫県尼崎こども家庭センター」（児童相談所）も入り、今まで以上に他の機関と連携した活動が期待されています。

先が見えず不安な時代ですが、今までの価値を問い直す絶好の機会ととらえ、子ども達の主体的な学びに応えられるよう精一杯教職員の支援ができる教育総合センターにしていきたいと思えます。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

教育総合センターは、今年度から新たに「学び支援課」と「学校 ICT 推進課」の2課体制となり、さらなる研修・研究の充実とともに、学校における教育の情報化を推進してまいります。

* 学び支援課

学び支援課では、研修担当が教育関係職員の研修を、企画担当が教育委員会事務局職員等の研修を担当します。また、調査・研究担当が全国学力・学習状況調査やあまっ子ステップ・アップ調査等を担当します。

1 研修担当

今年度から2年目となる尼崎市教育振興基本計画の基本方針である「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携」に基づき、次代を担う子ども達の学びを支える教職員の資質向上を図るため、経験年数や職務・職階に応じて、体系的・組織的な研修を実施いたします。また、いじめ防止に関する研修、体罰防止研修も実施いたします。

(1) 教職員研修

研修体系に基づいた各種の研修を実施することにより、教職員の資質と指導力の向上を図ります。主に基本研修（教職年数や職務・職階に応じた研修）と専門研修（教育課題等への対応、指導力の向上など）に分かれています。

○初任者研修（法定研修）の充実

授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関することなど、教員として必要な基礎を身に付けることを目指します。そして初任者教員が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の地域について学習できる研修を実施します。初任者研修をさらに充実するものとして、1年目研修に引き続き2年目、3年目においてもグループ等での授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指します。

○中堅教諭等資質向上研修（法定研修）の充実

グループによる教科指導や生徒指導の研修から、より実践力を高めるとともに、教育課題を研究することにより専門性を深めます。

共通研修により、尼崎の課題や展望を見つめ、中堅教員としての意識を高め、今後の教育活動に生かしていきます。

○体罰防止研修

体罰事案や全ての学校・園で実施した体罰アンケートの結果を受け止め、市として体罰再発防止の取組を一層強化する必要性から、体罰防止へ向けた教職員の研修を、3年間集中期間として実施します。今年度は2年目で講師については、民間事業者へ委託を行い、対象を管理職、部活動関係教員、教職員の3つに分け、それぞれ異なる内容になっています。

(2) 研修をすすめるにあたって

研修には、各校/園の実態に即した「校/園内研修」をはじめ、「教育総合センターの計画的に設定された研修」、その他各教科研究会が主体となって企画・運営されている取組等があります。それらが補完、連携し合って教員の意欲や資質向上を促していけるよう、研修担当がサポートしていきます。

(3) 講師謝金の支払いについて

児童生徒文化充実支援事業の研修に係る講師謝金の支払いは、学び支援課からの直費となります。講師謝金支払いは、講師謝金申請書に必要事項を記入し、研修実施1ヶ月前に学び支援課へ送付してください。研修終了後、約1ヶ月後に講師指定口座にお振り込みいたします。



2 企画担当

所属の予算管理、文書管理、施設維持管理に加え、教育委員会事務局職員を対象とした職員研修と社会教育主事講習等社会教育主事の養成事業、学校図書ボランティア育成事業、特別支援ボランティア養成事業を担当し、教育関係者の学びを支援します。

3 調査・研究担当

全国学力・学習状況調査や、あまっ子ステップ・アップ調査の結果を分析し、それらを踏まえ関係機関と連携しながら、各校における学力向上施策や、教員が授業改善に活用できる手立てや方法を研究・提案し、学力向上を図っていきます。

また、学びの先進研究サポート事業では、教職員の指導力向上に向けての支援をさせていただきます。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

(1) 学力調査結果の分析

毎年、全国の小学6年生・中学3年生を対象に実施されている全国学力・学習状況調査や、平成30年度より開始された あまっ子ステップ・アップ調査の結果を関係機関と連携しながら分析します。

また、ここで分析した結果を公表して終わりにせず、各学校でどのように評価し改善するのか、いわゆる学力向上のPDCAサイクルの一環として活用する方法を研究します。

(2) 研究部会の運営

当面する教育課題についてその実態を十分把握し、実証的な研究を深め、教育実践に役立つ研究成果を得て、「活用」に配慮した本市教育の充実を図るため、以下の研究部会を設けます。

- ・ICT活用推進部会
- ・授業力向上研究部会
- ・体力向上研究部会
- ・探求的な学習研究部会

(3) 学びの先進研究サポート事業

教員等で構成された自主研究グループに対して、講師招聘に伴う報償費など研究の充実を図るための活動を支援していきます。

また、「先進地域への短期派遣研修」の支援も行います。具体的には、派遣教員の希望に応じ、先進的研究に取り組む学校園等において、5日間程度の継続的な研修を行うための旅費を支援するものです。

* 学校 ICT 推進課

新しい学習指導要領で「学習の基盤となる資質・能力」の一つとされる「情報活用能力」の育成を始め、文部科学省が進める児童・生徒一人一台端末を整備する「GIGA スクール構想」への対応など、学校における教育の情報化を支援します。

(1) 教育 ICT 環境の整備

「分かりやすい授業の実施と児童生徒の情報活用能力の育成」、「セキュリティ強化」、「校務の情報化による業務の効率化」という視点で教育ネットワーク「AMA-NET」を更新し、教職員一人一台端末の配備等の教育 ICT 環境整備を行っていきます。

(2) 情報教育・教育の情報化の推進

情報モラル教育やプログラミング教育などに加えて、教科横断的に「情報活用能力」を育むための情報教育の在り方を研究・推進していきます。また、各学校における ICT 機器の活用を促進するなど、教育の情報化を一層図っていくため、次のような研修を実施していきます。

- ・教育用コンピュータシステム管理担当者研修
- ・ICT活用研修講座
- ・校務支援システム研修講座
- ・情報モラル・セキュリティ研修講座
- ・プログラミング教育研修講座 など

(3) 学校ホームページ関係

各学校園からのホームページ更新申請を受け付け、確認・処理し、インターネットへの公開を行うとともに、効果的な情報発信を推進します。また、学校園のホームページ作成を支援します。

学校園の、ホームページによる情報発信は、年々増加傾向にあり、今後も保護者や地域と連携した教育活動を推進できるよう、情報発信の支援をします。



(写真) 兵庫県内教育研究所連盟研究発表大会の様子



(写真) ICTを活用した学習指導の様子

教育総合センター 事務分掌表 令和3年5月1日現在

教育総合センター 所長 平山 直樹	
学び支援課長 大森 康充	
研修担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※教職員の研修及び研究助成 ※教育情報収集・整理・提供 ※情報誌の発行	
係長	尾之内 潤
指導主事	吉向 良太
指導主事	林 玄典
書記	後藤 有里
行政事務員	西川 嘉彦
行政事務員	平家 祐孝
行政事務員	柄下 勝彦

企画担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※教育総合センターの運営・計画調整 ※教科書センターの管理	
係長	保田 敬子
再任用	池内 猛
行政事務員	松浦かおり
事務補助員	北森 敏恵

調査・研究担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※学力調査(全国学テ/ステップ・アップ)結果の分析・活用、※研究部会の運営	
係長	藤井 俊史
指導主事	小谷 隆宏
主事	甲斐 卓磨
事務補助員	佐野 祥子

学校ICT推進課長 岡西 勝義	
学習担当 TEL6480-5178 (Fax6494-3151)	
※教育の情報化推進(ICT活用) ※情報教育推進	
係長	瀧本 晋作
指導主事	雨宮 久仁
行政事務員	山下 陽一
行政事務員	米田 浩
事務補助員	山崎 敏広

システム担当 TEL6480-5178 (Fax6494-3151)	
※教育の情報化推進(ICT活用) ※情報教育推進	
課長補佐	奥村 剛
係長	植田 浩一
主事	津瀬 康行
書記	坂根 亘

開館時間ご案内	
開館時間ご案内	平日 午前9時～午後9時

教育情報コーナーのお知らせ

★教育情報コーナーのご案内

教育総合センターでは、ひと咲きタワー3階『教育情報コーナー』において図書の貸出をしています。

- ・先生方に利用していただきたい本や資料、雑誌等をたくさん整備しています。
- ・原則として、貸出は6冊2週間です。
- ・庁内メール便による貸出・返却もできます。

《庁内メール便による貸出方法》

- 1 教育総合センターホームページを開く。
- 2 トップページにある【図書貸出リスト】をクリック。
- 3 【教育情報コーナーmini図書リスト】をクリック。
- 4 【開く】を選択して、エクセルファイルを表示する。
- 5 【検索】ボタンを使い、目的に合った図書を検索する。
- 6 希望の図書が決まったら【資料貸出票はこちら】をクリック。
- 7 「貸出入力」画面に必要項目を入力して【決定】をクリック。
- 8 自動でできる「資料貸出票」をメールに添付する。
- 9 ホームページに記載のメールアドレスに送信する。
- 10 受付終了後、本を送付します。

(担当 松浦)

★教育総合センターは、知の宝宝箱！

- ・学びとは、新しい世界との出会い
- ・学びとは、自分を広げること
- ・学びが、自信をもたらす
- ・学びが、自由をもたらす
- ・学びが、明るさを生み出す
- ・学びある人が、周囲を照らす



教育総合センターには、たくさんの教育の専門書、研究紀要、最新の教育雑誌があります。また、いつでも相談できる研修担当、調査・研究担当、教育情報担当指導主事、学校運営アドバイザーがいます。教育総合センターで、学びのスイッチを入れましょう。お気軽にお越しください。

★教育総合センターの場所および交通アクセス

住所：尼崎市若王寺2丁目18番3号

- ・「あまがさき・ひと咲きプラザ」（旧聖トマス大学跡）の最も高い建物「ひと咲きタワー」に教育総合センターがあります。本市の北東部に位置し、最寄りの阪急園田駅から、約1.1Kmの距離にあり、徒歩で約15分です。(受付：2階事務室)
- ・阪神バス（11系統 阪急園田駅南側～JR尼崎駅北側）が北側道路（県道西宮豊中線）を概ね1時間に3本運行しており、百合学院前で下ります。

阪急園田駅南側～百合学院 所要時間 約 3分

JR尼崎駅北側～百合学院 所要時間 約 12分

- ・駐車場および駐輪場あり

★『教育あまがさき』の発行

研究を深め、各学校園等の取組やがんばりを紹介します。尼崎の学校園を応援する教育情報誌です。原稿執筆や写真、作品提供にご協力ください。

(担当 西川)

発行 尼崎市立教育総合センター（尼崎市若王寺2丁目18番3号）

発行者 平山 直樹

題字 岡本 元興（元尼崎市教育委員）